

深沢次郎 写真集 よだか

生きることに絶望し 命をかけて夜空を飛び続けた よだか
志半ばに突然逝った友への追想と鎮魂を綴る

深沢次郎は、1968年生まれ、名古屋市出身の写真家です。1992年早稲田大学商学部卒業、写真ワークショップCORPUS第一期卒業後、写真家のアシスタントを経て1995年フリーランスとなりました。現在は神奈川県相模原市を拠点に、写真家として活動しています。2004年、2009年にPGIにて個展を開催しています。

本作「よだか」は、3年前の親友の死をきっかけに紡がれました。かつての大学サークルの仲間であり、深沢とともに青春時代を過ごしたその人は、信州に移住し、炭焼き職人として生計を立てる傍ら、ストイックに小説を執筆し、発表していました。彼の住む信州の山奥で、若い頃のように二人で過ごし、遊び、語りあった時間は、轟々と燃え盛る炭焼きの炎、きらきら光る武石川の水面、鮮やかな動物の血肉、かそけき虫たちの営みを通して、美しく蘇ります。

また、彼の死後、胸にぽっかりと空いた穴に飛び込むように、深沢は一人山の中に入り、黙する氷柱、乱舞する月のあかり、恐ろしいほどの満点の星空に向けて、彼の魂の在処を探るようにシャッターを押し続けました。その営為は彼へのレクイエムであり、遺された自身の魂をも救うものでした。

理想を追い求めた文学者であり親友である一人の死への鎮魂として、大自然を舞台に、生命の煌めきの一瞬をみずみずしく捉えた作品です。いっせいにいのちが花ひらくこの季節に、ぜひお手にとっていただけましたら幸いです。



深沢次郎写真集『よだか』

2022年4月1日初版発行

写真・文 深沢次郎

俳句 鶴岡一生

翻訳 レベッカ・ジェニスン

ブックデザイン 宮添浩司

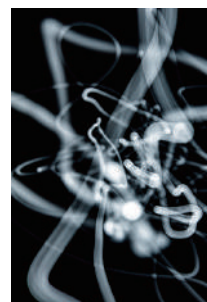
印刷 渡辺美術印刷株式会社

発行人 渡辺 薫

発行所 ふげん社

価格 4,500円（税別）

ISBN 978-4-908955-15-0



深沢次郎 Jiro Fukasawa

1968 長野に生まれる。

1989 Dennis Hopperの写真展を見た後、独学で写真を始める。

1992 早稲田大学商学部卒業。写真ワークショップCORPUS第一期卒。

1995 伊島薫事務所でのアシスタント勤務を経て独立。

現在 フリーランス、神奈川県在住。

【個展】「空／In the Sky」PGI（2004年 東京）、「In the Darkness」PGI（2009年 東京）、「In the Darkness / Firefly Flashing In the Darkness」藤野アートヴィレッジ（2010年 神奈川）、「山の阿房」Fujino Club Art Gallery（2021年 神奈川）

<https://www.jirofukasawa.com/>

プロフィール

【展覧会情報】深沢次郎写真展「よだか」 4月7日～4月28日 コミュニケーションギャラリーふげん社（東京・目黒）

▶ご注文はツバメ出版流通まで FAX：03-3721-1922 TEL：03-6715-6121
mail：info@tsubamebook.com <http://tsubamebook.com>

貴店名（番線印）	新刊 ふげん社	https://fugensha.jp https://www.shashin.tokyo/ 返品条件付注文扱い 返品了解 ツバメ出版流通：川人
ご注文数	深沢次郎写真集「よだか」	
ご担当： 様	ISBN 978-4-908955-15-0 C0072 定価 4,950円(本体4,500円+税10%)	